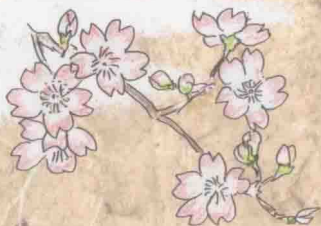


歌集

花の渴き

藤田貴佐代



角川学芸出版

歌集

花の渴き

藤田貴佐代

角川学芸出版



歌集 はな かわ
花の渴き

新日本歌人叢書第638篇

発 行 2015(平成27)年4月26日

著 者 藤田貴佐代

発行者 郡司 聡

発行所 株式会社 KADOKAWA

<http://www.kadokawa.co.jp/>

編 集 角川学芸出版

〒102-8177 東京都千代田区富士見 2-13-3

電話 03-5215-7821(編集)

<http://www.kadokawagakugei.com/>

印刷所 中央精版印刷株式会社

製本所 中央精版印刷株式会社

本書の無断複製(コピー、スキャン、デジタル化等)並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

© Kisayo Fujita 2015 Printed in Japan ISBN978-4-04-652957-2 C0092

花の渴き*目次

第一部 東日本大震災

震度5の揺れ 3・11の我が家

地震、津波、原発事故

核をめぐる

原発なくせ十七万人

津波の街へ 一年後の石巻を歩く

二年後 「復興の鐘」——大槌、釜石へ

官邸前そして脱原発テント

宮城 閑上地区

福島県 「山と海のある町」しんち新地

飯舘村

三年後 フクシマの溜め池

時が止まったままの町 富岡町

第一原発二十キロ圏内の町

44 41 38 36 33 29 27 23 20 18 16 13 11

陸前高田の一本松

被災地のコンサート 陸前高田

第二部 花の渴き

風の旅

命の保証書

奥入瀬溪流

「春なお浅く」——石川啄木

コローとヴィル^{ll}ダヴレーの森

岡倉天心と五浦の海

久慈りんご園

火に惚れて 陶芸家・佐藤泰正

短歌を講じて

「非正規」切り

カビ米

希望があれば

「安保」の港

我孫子九条の会

無縁死

無縁社会

長崎の風 坂本龍馬

築地と多喜二

反戦川柳作家 鶴彬

ふるさと

牧水生家と宮崎

伊藤千代子と地しほりの花

湿原の「やちぼうず」たち

網走監獄

風の盆

高村光太郎山莊

日々忽忽そつそつ

平城宮跡

まぼろしの「九絵」と伊勢丸

鳥インフルエンザ

ハンカチの木

奄美大島紀行

田中一村と奄美

百里基地

万葉歌碑めぐり

「予科練」記念館

二人目の孫

オスプレイ

惜別

暮坂峠

伊豆高原

渡辺順三を偲ぶ

亀戸吟行

癌の枷解かれて

真夜中の当選の報 河野百合恵

命 綱

高知を歩く

渡辺順三生誕百二十年

古稀は過ぎても

あとがき

装画・装幀 熊谷博人

203 200 196 191 189 185 183 180 177 174

花の渴き*目次

第一部 東日本大震災

震度5の揺れ 3・11の我が家

地震、津波、原発事故

核をめぐる

原発なくせ十七万人

津波の街へ 一年後の石巻を歩く

二年後 「復興の鐘」——大槌、釜石へ

官邸前そして脱原発テント

宮城 閑上地区

福島県 「山と海のある町」しんち新地

飯舘村

三年後 フクシマの溜め池

時が止まったままの町 富岡町

第一原発二十キロ圏内の町

44 41 38 36 33 29 27 23 20 18 16 13 11

陸前高田の一本松

被災地のコンサート 陸前高田

第二部 花の渴き

風の旅

命の保証書

奥入瀬溪流

「春なお浅く」——石川啄木

コローとヴィル^{ll}ダヴレーの森

岡倉天心と五浦の海

久慈りんご園

火に惚れて 陶芸家・佐藤泰正

短歌を講じて

「非正規」切り

カビ米

希望があれば

「安保」の港

我孫子九条の会

無縁死

無縁社会

長崎の風 坂本龍馬

築地と多喜二

反戦川柳作家 鶴彬

ふるさと

牧水生家と宮崎

伊藤千代子と地しほりの花

湿原の「やちぼうず」たち

網走監獄

風の盆

高村光太郎山莊

日々忽忽そつそつ

平城宮跡

まぼろしの「九絵」と伊勢丸

鳥インフルエンザ

ハンカチの木

奄美大島紀行

田中一村と奄美

百里基地

万葉歌碑めぐり

「予科練」記念館

二人目の孫

オスプレイ

惜別

暮坂峠

伊豆高原

渡辺順三を偲ぶ

亀戸吟行

癌の枷解かれて

真夜中の当選の報 河野百合恵

命 綱

高知を歩く

渡辺順三生誕百二十年

古稀は過ぎても

あとがき

203 200 196 191 189 185 183 180 177 174

装画・装幀 熊谷博人

歌集
花の渴き

藤田貴佐代

